

### 第3回小田原市学校教育振興基本計画策定委員会会議録

- 1 日時 平成24年10月15日(月)午後6時00分～午後7時40分
- 2 場所 小田原市役所 601会議室
- 3 出席者 策定委員 鈴木 みゆき、二見 栄一、大輪 仁、小川 恵子、  
栢沼 行雄、益田 麻衣子(高井 周作氏代理)、  
畠山 康、瀬戸 祐明、片山 美代子(名簿順)  
事務局 三廻部教育部長、佐藤教育部副部長、松本教育部管理監、皆木  
保健給食課長、長澤教育指導課長、菴原指導・相談担当課長、  
阿部教育総務課副課長、山田給食センター担当副課長、柏木教  
育指導課副課長、下川施設係長、石井保健係長、早川給食係長、  
田中教育指導課指導主事、石井教育指導課指導主事、小林教育  
総務課主査、井上教育総務課主任

#### 4 議事等の概要

##### (1) 開会

- (2) 議題 (1) 小田原市学校教育振興基本計画(案)の前段に係る策定委員からの  
質問・意見の反映について

資料 小田原市学校教育振興基本計画(案)

資料1 策定委員からの質問・意見回答

○資料に基づき、教育部副部長から修正箇所等について説明

○質疑、意見

大輪委員長…それぞれの委員からの意見や質問に対しての対応ということで説明がありました。また、6ページにつきましては改めて再提案があるということによろしいでしょうか。

教育部副部長…6ページにつきましては、熟度が足りないと認識しておりますので、改めて再提案させていただければと思います。

栢沼委員…6ページを手直しされるということですが、写真が唐突に出てきているように感じます。山王小学校の海岸清掃ということで、別に悪くはないのですが、説明文の中身と照らし合わせてベストの写真なのかどうかというこ

ともありますし、ここだけ写真があるというのも少し違和感を覚えます。  
教育部長…後段も含めて、イメージが伝わりやすいように、全体に写真を少しずつ入れ込もうということは考えております。この部分につきましても、グリーンカーテンや生ごみ処理機の写真についても用意したのですが、中々良い写真がございませんでしたので、今後調整させていただければと思います。  
栢沼委員…この部分については、学校独自で環境問題に取り組んでいる写真のほうの  
が良いような気もしました。

また、13ページのめざす子どもの姿の図ですが、ここは1番のポイントのような気もしますし、折角、良い図を作っていたので、もう少し強調するなどして、目立つように出来ればと思いました。

大輪委員長…もう少し、ラインを太くしたり、交わっている部分に色を付けたりして立体的なものにしたほうが良いのではないかという御意見だと思います。

また、この部分の「3つの心と3つの力」というのは、あえて付け加えてきたということによろしいでしょうか。

教育指導課長…30年先の子どもたちの成長を願って、「3つの心と3つの力」は人間として生きていくための土台となるだろうということで、教育長からもこの部分は強調したいという思いがあり、付け加えてあります。

### (3) 議題 (2) 施策の展開について

資料 小田原市学校教育振興基本計画(案)

小田原市学校教育振興基本計画用語集(案)

○資料に基づき、石井教育指導課指導主事、小林教育総務課主査から説明

○質疑、意見

大輪委員長…18ページを見ますと、基本目標を10に分けたということですが、その中で、1から3、4から7、8から10の3つに大きく分けられるかと思えます。この3つについて、15分から20分ずつくらいで協議をする形で進めて行きたいと思えます。次の会議が教育委員・策定委員と市民との意見交換会になりますので、ここで話し合ったことを再度まとめる作業が必要ですが、そのまとめたものを委員に確認していただくということになろうかと思えますので、そのことも踏まえて意見をいただければと思

ます。それでは1から3について御意見はありますか。

二見委員…全体の中で、「など」・「等」や「教職員」・「教員」・「教師」というものなどの整合性を取る必要があると思います。また、表題では「保育所(園)」と書いてありますが、中身では「保育所」となっていましたので、そのあたりもどうなのかと思いました。

大輪委員長…また、「ティーム・ティーチング」は、他の文書を見ていると「チーム・ティーチング」としていることが多いように思うのですが、そのあたりはいかがでしょうか。

教育指導課副課長…文部科学省では「ティーム・ティーチング」になっておりますので、そちらに合わせています。

教育部長…「など」・「等」につきましては、統一するのではなく、文章によって使い分けています。また、「子どもたち」という表現は幼児も含めた場合、「児童生徒」は小中学校の子どもを表す時に使っています。

教育指導課指導主事…「教師」については見直したつもりでしたが、直し損ねてしまったものです。

二見委員…また、途中にあるアスタリスクの意味が分からなかったのですが。

教育指導課指導主事…アスタリスクにつきましては、文言の説明が必要かと思われる部分に付けて、用語集に載せています。

大輪委員長…アスタリスクが何かという説明もどこかに必要かと思います。また、先ほど説明にあった、「子どもたち」・「児童生徒」などの区分けの説明も用語集かどこかに入れても良いかと思います。

教育部長…資料の用語集につきましても、こういうものも必要ではないかという御意見もいただければと思います。

大輪委員長…用語についても、教育用語が入っていますので、一般の人が見ても分かりやすい表現、もしくは説明が必要なものがあれば、それも含めて御検討いただければと思います。

全体の流れとしては、「基本目標」があって、「現状と課題」、「基本施策」という形は共通しているかと思いますが、このまとめ方は非常に分かりやすくなり、整理されていることが確認できるかと思います。後は中身の部分で、文言の整理も含めて、他にございますでしょうか。

二見委員… 23 ページですが、●の3つ目5行目に「家庭での読書離れが進む中で」とありますが、家庭に限っていないような現状があると思います。家庭だけではなく、全体的に読書離れの傾向があると思いますので、ここに「家庭での」という文言が必要なかどうかということが疑問です。

また、●の5つ目の4行目ですが、「学習指導の充実」とありますが、「豊かな心の育成」ということから考えると、「体験活動の充実」などにしたほうが良いのではないかと思いました。

教育指導課指導主事…「体験活動の充実」につきましては、仰られるとおりですが、一方で「学習指導」との両輪でということもございますので、検討させていただければと思います。

二見委員…「豊かな心の育成」ということで特化しているので、「学習」というよりも「体験」としたほうが良いようにも思います。

大輪委員長…目標説明の中にも「体験活動」という文言が入っていますので、この部分につきましては、「体験活動の充実」のほうが適切かと思います。

また、「家庭での」という限定の文言につきましては、検討ということによろしいでしょうか。

教育部長…抜いてしまっても良いように思います。

栢沼委員…そこにデータなどの根拠があれば謳っても良いのかもしれませんが、説明できるものがなければ抜いてしまったほうが良いと思います。

瀬戸委員…この計画は最終的に25年3月にまとめるということで、20ページの●の2つ目で、「平成25年3月におだわらっ子学力向上プランを作成しました」と過去形にしているということでしょうか。

教育部長…同時進行で作成しておりますので、そのような表現としております。

また、「主な取組」の中で、「このようなものに取り組んでいきたい」というような、新たに想定する事業をいくつか挙げていますので、少し説明させていただきます。

○資料に基づき、石井教育指導課指導主事から「主な取組」について、新規事業を中心に説明

大輪委員長…他に御意見もないようですので、4から7に進みたいと思います。

○資料に基づき、石井教育指導課指導主事から「主な取組」について、新規事業を中

心に説明

栢沼委員… 38 ページの目標説明の中で、「様々なニーズに対応」とありますが、あくまでも教育的ニーズではないかと思います。その意味では、39 ページの「支援体制の充実に努めます」の部分で、「それぞれの教育的ニーズに応じた支援」とありますので、目標説明の中も、「様々な教育的ニーズに対応」としたほうが良いのではないかと思います。

また、40 ページの中に「教育相談センターの設立」を入れたことは、私は非常に高く評価しています。以前から小田原市が色々な形で相談センター的な窓口を持っていますが、これからは小田原市としての統一した教育相談センターというものが絶対に必要だと思います。藤沢市などではとっくに立ち上げておりますし、是非とも実現の方向に行って欲しいと思います。

また、43 ページの「幼保・小・中連携、地域連携デー（仮称）の設定」についても、非常に良い発想だと思っています。具体的には例えば、自治会の連合単位で防災訓練を行っていますが、過日も千代中学校の校長と話をしている中で、千代中学校は豊川、上府中、下曾我、曾我といくつかの連合が集まっていますが、防災訓練の日が連合単位で違います。そうしますと、いざという時に中学生が地域にとって非常に重要な役割を果たすということが、やりたくても出来にくい状況になっています。それが日を統一して、一斉に防災訓練をやるということになれば、千代中学校の全校生徒や教職員が各地区の防災訓練に出て、翌日を振替休日にするということが出来るのではないかと思います。そうしますと、中学生が地域との連携の中で、活躍の場が出来ると思いますし、地域もそれを期待できるということが将来的には出来るのかなと思います。

二見委員… 34 ページですが、●の1つ目6行目に「児童生徒の社会的に自立可能な資質を育む、キャリア教育の充実」とありますが、「キャリア教育の充実」の文言として分かりやすいのは、「児童生徒が社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる」としたほうが良いのではないかと思います。

畠山委員… 35 ページの「キャリア教育を推進します」の1行目に、「未来の小田原

を支える子どもたち」とありますが、「未来を拓く子どもたち」で良いのではないかと思います。

また、45ページの「小田原版市民教育の教材作成」についてですが、ここでは市民に対してということではなく、やがて市民になっていくであろう子どもたちを相手にするという理解でよろしいでしょうか。

教育指導課指導主事…そのとおりです。

大輪委員長…学校教育の計画ですので、そのような理解のもとで読むと分かるのですが、ぱっと見ると、市民に対してのものだと受け止められるような文言だと思います。

二見委員…36ページの「多文化理解教育と外国語教育の充実に努めます」という部分の4行目で、「異文化理解教育」とあるのは「多文化理解教育」の間違いでしょうか。

教育指導課指導主事…「多文化理解教育」の間違いです。

大輪委員長…先ほど栢沼委員の話の中にもありました「教育相談センターの設立」についてですが、県も含めると相談機能がたくさんあり、どこに相談すれば良いのが学校現場が悩むところです。出来れば、そちらとの連携も含めたような表現が出来ると良いと思います。

二見委員…39ページの「通級指導教室の充実に図ります」という部分の4行目で、「外国につながる児童生徒」とありますが、これはどういうことでしょうか。

教育指導課指導主事…これにつきましては、これまで「外国籍」という言い方をしていたと思うのですが、最近では、日本に住んでいる日本国籍の子どもであっても、日本語の習得が不十分な場合がありますので、「外国につながる」という言い方を国や県ではしています。

大輪委員長…これは用語集に載せたほうが、誤解がなくて良いと思います。

二見委員…同じページですが、「支援教育に関する教職員の専門性と指導技術の向上を図ります」の部分に、「教員が子どもたちが抱える課題に対しての理解を深め」とありますが、「教員が子どもたちの抱える課題に対して理解を深め」としたほうが良いと思います。

大輪委員長…他に御意見もないようですので、8から10に進みたいと思います。

○資料に基づき、石井教育指導課指導主事、小林教育総務課主査から「主な取組」について、新規事業を中心に説明

大輪委員長…48ページのカリキュラム・マネジメントについては、教育研究所は関わるのでしょうか。

教育指導課指導主事…現在は各学校に任せているような形になってしまっており、すので、教育研究所としても何らかの形で関わりたいと思っています。

大輪委員長…各校で研究主任などが検討しているマネジメントを教育研究所でまとめ、それを起点として各校に広がって行くような取組が出てくればよいと思います。

栢沼委員…46ページの1番下に、かねてよりお願いしていた「めざす教師像」が入ったということで、大変良かったと思います。小田原市の教員の指標として、このような「めざす教師像」があってしかるべきだと思っています。

また、52ページの「災害対策」が薄くなってしまっていると思うのですが、いかがでしょうか。

教育部管理監…この部分につきましては、事務局でも議論を重ねた部分です。前回会議でも栢沼委員から御意見をいただきましたので、「地域」という部分は基本目標の中で謳っています。学校施設は地域の避難所となるということも前提に施設整備を行うということもありますが、皆さんが避難して使うよりも先に、子どもが安全に使用できるようにしなければならないということが先ではないかということで、基本施策1で「安全で快適な学校環境の整備」として整理をしています。そのため、御指摘のとおり、「災害対策」の部分が薄くなってしまっているのですが、最終的にはこのようにまとめさせていただきました。

大輪委員長…事業の再掲も考えられると思うのですが、あえて薄くしたのでしょうか。

教育部管理監…避難所としての機能も大切ですが、それ以前に子どもたちが安心安全に使える施設を整備しておくべきだということで、例えば、50ページに「非構造部材の耐震化対策やバリアフリー化を進めます」とありますが、小田原市は、耐震補強工事は終わったのですが、次のステップとして非構造部材の耐震補強を載せてあります。これは当然、避難所としても必要なものですが、それ以前に子どもたちのために整備すべきだということで、

整理をしています。

大輪委員長…「非構造部材」も用語集に載せたほうが良いと思います。

教育部長…例えば、基本施策の「非構造部材の耐震化対策やバリアフリー化を進めます」や「学校トイレの改善を進めます」なども再掲として、「災害対策」に載せることも考えたのですが、再掲という扱いを他でもしなかったのが、現時点ではしておりません。

栢沼委員…今の説明を聞いて分かったのですが、この部分だけを見た時に、これだけしかないのかという気がしました。

教育部長…基本施策の「非構造部材の耐震化対策やバリアフリー化を進めます」や「学校トイレの改善を進めます」なども再掲したほうが分かりやすいでしょうか。

栢沼委員…「主な取組」のところに入れていただければ良いと思います。

教育部管理監…「主な取組」については他でも再掲している部分もございますので、検討させていただきます。

瀬戸委員…今の話の部分は、平時にやっておけばいざという時に役に立つものだと思います。小田原市はこれだけ施設に予算をつけて、有事の時のことも考えてやっているということも、「現状と課題」の部分でもう少し記述しても良いと思います。また、「災害対策」の部分は、「広域避難所開設に協力します」の「協力」という部分をもう少し膨らませておけば、それで良いように思います。

大輪委員長…「災害対策」の部分は、学校がどのような形で協力をしていくのかという視点で記述しても良いのかなと思います。

それでは、他に御意見もないようですので、全体を通して何か御意見はありますでしょうか。

瀬戸委員…この計画を読んでいただくというターゲットはどの世代なのでしょうかと云いますのも、難しい文言や、深読みしなければ分からないものもありますので、確認したかったのですが。

教育部長…出来るだけ市民が読んでも分かりやすいようにという視点では努力しているのですが、ボリュームもありますし、教育全体を記述していますので、そこは御理解いただければと思います。



大輪委員長…ボリュームもありますし、瀬戸委員が言われている気持ちはよく分かります。ただ、説明しなければ理解されないということも含まれていますので、10年後や20年後を見た内容であるということを前提とすれば、そこはしっかりと説明しておかなければならないと思います。

教育部長…分かりやすいダイジェスト版も作成する予定です。

二見委員…私はこれを読んだ時に、小田原の教育の再確認と言う意味でも、よく出来ていると思いました。ただ、瀬戸委員が仰るように、対象を誰にするのかによって、読み込みが難しい部分もあるとも思います。

教育部長…1つには、教育現場の方にしっかりと読んでいただければと思います。そういった意味で、55ページの「進行管理」で、「計画を推進する主体は小田原市教育委員会であり、事務局職員や教職員も計画の目的をきちんと理解する必要がある」と謳っております。ただ、市民が全てを理解するのは厳しい部分もあるとは思いますが、ダイジェスト版でフォローできればと思っております。

大輪委員長…いくら良いものを作っても浸透していかなければ意味がないので、どうやって浸透させていくのかは今後の課題かもしれません。

意見も尽きたようですので、お持ち帰りになって、意見がある場合にはFAX等で事務局まで連絡いただければと思います。期限はいつまででしょうか。

教育総務課主任…10日後の24日までをお願いします。

○資料に基づき、井上教育総務課主任から「資料編」について説明

#### (4) 議題 (3) 教育委員・策定委員と市民との意見交換会について

資料 資料2 学校教育振興基本計画策定に係る意見交換会策定要項(案)

○資料に基づき、教育部副部長から説明

○質疑、意見

瀬戸委員…市民の方の人数についてはあらかじめ決めているのでしょうか。

教育部副部長…私たちも初めての試みですので、どれくらいの市民の方から申し込みがあるのかが読めませんので、検討させていただければと思います。

(5) その他

○パブリックコメントについて教育部副部長から説明。

(6) 閉会